教科	国語	科目(単位数)	現代の国語(2)	学年	1	類型	普通科
学習目標	言葉による見方や考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実生活や実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月～5月	①対比の構造 「水の東西」(評論) 【領域：読むこと】	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】 B評価：本文の内容を踏まえて、具体的事例をあげることができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、用紙や要点を把握している。【C(1)ア】 B評価：「水」以外の事例における日本と西洋の違いについて、まとめることができる。	筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 B評価：学習課題を踏まえて自分の考えを整理し、文章化できている。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【1学期】 6月～7月	②論理とレトリック 「コインは円形か」(評論) 【領域：読むこと】	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。【(1)ア】 B評価：筆者が述べるレトリックの意義をおおむね理解できている。	「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。【C(1)イ】 B評価：筆者が述べる具体例や【例】を参考にしながら、身近な物事に対する自分の認識について、多角的にとらえることができる。	筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 B評価：筆者の主張をとらえた上で、話し合いに参加することができる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【1学期】 7月	③実用の文章 「根拠の妥当性を説明する」 【領域：書くこと】	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 B評価：主張と根拠を区別して書くことができる。	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えるとともに、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。【B(1)ウ】 B評価：根拠とともに、適切な理由付けを加えて主張する文を書くことができる。	解説内容を粘り強く理解し、論証の仕方について学習課題に沿って考えようとしている。 B評価：手順に沿って学習課題に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 9月～10月	④具体と抽象 「ものごとくば」(評論) 【領域：読むこと】	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。【(1)ア】 B評価：言葉によって「もの・こと」が認識されるという唯名論的考えについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、用紙や要点を把握している。【C(1)ア】 B評価：日本語と英語に見られる「認識される対象」の違いについて考察できている。	筆者の意見を踏まえた具体的事例について粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 B評価：手順に沿って具体的事例を探し、考察を進めることができる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 10月～11月	⑤比較する 「絵を前に思いをめぐらす」(評論) 【領域：書くこと】	比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や、婉曲的な述べ方について理解し、使っている。【(1)カ】 B評価：新聞記事と本文のそれぞれの筆者の表現が意味するところを、おおむね理解できている。	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えるとともに、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。【B(1)ウ】 B評価：本文中述べられている美術鑑賞の特徴を踏まえて、新聞記事の筆者が抱いている「競争を生き残るための新しい武器」に関する危惧の内容について説明できている。	異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 B評価：指示に従って学習課題に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 11月～12月	⑥視野を広げる 「他者を理解するということ」(評論) 【領域：読むこと】	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 B評価：筆者の主張を根拠とともに明示することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、用紙や要点を把握している。【C(1)ア】 B評価：「そのこと」が指示する内容を明らかにして、筆者の考えの筋道を説明できている。	論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 B評価：指示に従って学習課題に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 1月～2月	⑦思考を深める 「時間と自由の関係について」(評論) 【領域：読むこと】	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。【(3)ア】 B評価：「時間」に関する本を読んで本文の解釈を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、用紙や要点を把握している。【C(1)ア】 B評価：「時間」について論じられた異なる文章を読んで内容を理解し、「時間」に対する自分の考えをまとめることができる。	同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。 B評価：指示に従って学習課題に取り組み、感想を発表することができる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 2月～3月	⑧実用の文章 「文章の構成を工夫して提案する」 【領域：話すこと・聞くこと】	実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)エ】 B評価：読み手にわかりやすい語句や表現を、書式に合わせて用いることができる。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。【B(1)イ】 B評価：企画の根拠を資料の内容を踏まえて考え、書式に対応した内容を書くことができる。	資料等を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に企画書を作成しようとしている。 B評価：学習課題を踏まえて資料を検討し、書式に沿って企画書を書いている。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
使用教材 (教科書・副教材)	「高等学校 現代の国語」(数研出版) 「新訂版 最新国語便覧」(浜島書店) 「トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字」(浜島書店)						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 本文を熟読し、わからない語句などは辞書を用いて意味調べをする。 小テストの漢字や、未習の漢字は確実に読み書きできるようにする。 漫然とノートを写すだけでなく、授業中は先生の話や他者の発言をしっかりと聞き、メモを取ったり自分の意見と比べたりする。 作品を読み終えた後は、感想や筆者の主張に対する意見をまとめる。 授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。 話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。 						
評価について	各単元で設定された目標に対する観点別評価を行う。評価方法は、授業態度や授業内の協働学習での取組み、小テスト、提出物、定期考査などである。各単元における評価方法は、上記【※評価方法】の通りである。各単元及び各学期における観点別の評価と、学年末における観点別の評価をもとに総合的な評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。						